

平成29年度事業報告

■法人管理

(1) 総会の開催

・通常総会

開催年月日 平成29年 5月29日

議決事項 平成28年度事業報告、決算及び監査報告について

(2) 評議員会等の開催状況について

・5月度理事会

開催年月日 平成29年 5月18日

議決事項 平成28年度事業報告、決算及び監査報告について

・8月度理事会

開催年月日 平成29年 8月29日

議決事項 収支補正予算(案)にていて

・12月度理事会

開催年月日 平成29年12月11日

議決事項 萩版DMO事業について

・3月度理事会

開催年月日 平成30年 3月19日

議決事項 平成30年度事業計画(案)、収支予算及び資金調達及び設備投資の見込み(案)について

■観光振興に関する事業

1 趣旨（目的）

本事業は、萩市の観光を振興するために、観光行事の実施、観光客の誘致宣伝、萩市の観光客受入態勢の整備を行うことにより、市内外の交流人口の拡大を図り、経済の波及効果と雇用の創出により、地域社会の健全な発展を目指すものである。

2 事業

（1）観光行事実施事業

【事業内容】

萩市の歴史や風土等に関連する様々な観光行事を主催・共催し、観光客等に楽しんでもらうことや萩を市内外にアピールすることを通じて、より多くの観光客が萩市を訪問するきっかけづくりを行い、萩市の観光振興を図った。

【周知方法】

ホームページへの掲載、チラシの配布及びポスターの設置（市内外、県内外の道の駅等約100箇所）

萩市市報への掲載等

【体制】

主催事業 役職員10名前後（萩観光小町含む）

共催事業 実行委員会形式により実施又は自治体等の他団体との共催により行う。協会は、企画・運営に参加し、実行委員会への負担金や旅費等の経費負担を行った。

【協力・委託】

事業の内容によって、地域のスポーツ少年団等や公募ボランティアの協力を得て実施した。また、協会では対応できない専門的なものや会場等設営にかかる業務については市内事業者へ委託し実施。

（取組）

○萩の夏の風物詩「萩・万灯会（迎え火）」

萩藩主毛利氏の菩提を弔うため、大照院参道や石灯籠などに約4,000個の蠟燭を灯した。

・期日 8月13日

・場所 大照院

・協力 スポーツ少年団 30人

・体制 役職員10名前後とスポーツ少年団で石灯籠などに蠟燭を灯す。

（平成29年度実績） 参加者 6,600人

○着物ウィークin萩プレミアムの開催（共催）

江戸時代の風情が残る萩城下町で、着物を着てまち歩きを楽しんでもらう観光行事。

- ① 着物レンタルサービス・着付け（専門事業者（ボランティア）の協力あり）
- ② 割引パスポート（着物を着ている方の食事・買い物の割引）の配布
- ③ 和の心を楽しむ体験プログラムの実施
- ④ 無料写真プレゼント
- ⑤ 着物フォトコンテストの実施

- ・期日 10月1日～22日
- ・場所 萩城下町周辺ほか市内各所
- ・体制 実行委員会（事務局は協会で、メンバーは町内会長や呉服商、旅館組合商店街の約20団体）形式により実施
- ・協力 公募ボランティア延べ人数 約200人
（平成29年度実績）参加者 10,800人

○萩観光シーズン開き

1年間の観光振興と観光客の旅行中の安全を祈願した（民踊の奉納、ふく鍋の無料提供）

- ・期日 2月4日（日曜日）
- ・場所 萩城跡指月公園
- ・協力 男なら保存会
- ・体制 役職員10名前後が神事等へ参加すると共にふく鍋の提供を行った。
（平成29年度実績）参加者 150人

○萩・しろ魚まつり

萩の春の風物詩である伝統の「しろ魚漁」や名物「おどり食い（無料）」を体験できるまつりの実施（しろ魚料理等を使った模擬店も併設）。

- ・期日 3月4日（日曜日）
- ・場所 山口県漁協萩地方卸売市場
- ・協力 萩しろ魚組合
- ・体制 役職員15名前後（萩観光小町含む）
- ・協会負担 おどり食いの無料体験
（平成29年度実績）参加者23,000人

（2）観光客誘致宣伝事業

他団体との連携による共同観光宣伝やホームページ等を活用した情報発信、観光小町による観光PR等により、萩市の魅力を市内外に発信し、萩市の観光客の増加を図った。

○他団体との連携による共同観光宣伝の実施

他団体の観光宣伝隊や他市の交流事業へ職員を派遣し、萩市外での萩市の観光PRを行った。

- ・実施（周知）方法 他団体と協力し、萩市外において、街頭PRを行ったり、旅行業者や情報誌業者、地元テレビ局へ訪問して宣伝等を行った。
- ・体制 協会職員約1～3人、観光小町1～2人が観光交流事業及び観光宣伝隊に参加した。

（平成29年度の連携先及び実施方法等）

- ア ながと路観光連絡協議会の観光宣伝隊（メンバー：長門市、萩市、美祢市、阿武町、津和野町、益田市及び各観光協会）の一員として、広島方面において、萩市等の観光宣伝を行った。
- イ 萩市・下関市連携事業の一員として、鹿児島県で、萩市の観光宣伝を行った。
- ウ 山口県主催の東京・大阪での観光情報発信会へ当協会役職員が参加し、萩市の観光宣伝を行った。
- エ JR西日本主催の大阪駅・博多駅で開催のDC関連イベントへ当協会職員が参加し、萩市の観光宣伝を行った。
- オ 萩・世田谷幕末維新祭りへ当協会職員が参加し、萩市の観光物産宣伝を行った。
- カ 山口県観光連盟等が主催する関東・中部地区の学校及び旅行会社へ当協会職員が参加し、修学旅行の誘致を目的とした訪問宣伝を行った。
- キ 山口県観光連盟及び旅行会社主催の韓国・台湾情報発信会・商談会へ当協会役職員が参加し、萩市の観光宣伝を行った。

○ホームページ等による情報発信

ホームページ等による情報発信を行い、萩市の魅力及び見どころ等を萩市内外に情報発信を行った。

- ・内容 ①ホームページ「ぶらり萩あるき」
- ②観光行事関連の観光ポスター、リーフレット、パンフレットの作成
- ③テレビ、ラジオ、新聞等マスコミ関係への観光行事等の情報提供
- ・ポスター等配布場所 県内市町、道の駅、町内会等約100箇所、その他団体との連携事業等においても持参し情報発信を行った。

（平成29年度の実績等）

- ①ホームページアクセス数等 アクセス数267万件、ページビュー数388万件
- ②リーフレット等の作成数 10万部
- ③情報提供数 65件（旅行雑誌出版社、新聞等述べ21件、NHK、KRY、TYSテレビ等述べ44件）

○萩観光小町の選任・PR活動

公的観光諸行事への参加及び取材等に対応する萩観光小町を選任及び委嘱し、萩市の観光宣伝を行った。

- ・募集方法 一般女性を対象に、チラシの配布（市内公民館、企業、萩市記者クラブ等約30箇所）、市報への掲載等により募集を行った。
- ・人数及び資格 1人 萩市在住で満18歳以上の女性

- ・任期及び業務 2年間 主催行事及び他の観光関連行事において観光資源を紹介し、観光振興に寄与すること。年間一人10回程度の観光行事に参加した。
- ・選任方法 審査委員による面接により選任し、委嘱する。
- ・審査委員 当協会会長、副会長、専務理事
- ・実施方法 募集要項により萩観光小町の応募者を募り、萩観光小町にふさわしい女性を観光協会審査委員が面接により選任し、当協会が委嘱する。なお、本人へ10万円及び推薦者へ1万円の賞金を支払った。

(平成29年度実績)

- ・1人選任及び委嘱 齋藤友希
- ・諸行事参加及び取材実績 17回

○観光調査事業

萩市へ訪れる観光客動向調査を実施し、地域別観光客数等の分析を行うことで、当協会の観光戦略の資料とし、効率的かつ効果的な観光振興に資するとともに、社会に活用されるよう、その調査結果を公表した。

- ・調査内容 観光施設を訪れる観光客数、宿泊客数、観光施設に併設される飲食店の来客数について、年齢層、男女別、月別、一般・修学旅行別、県別、国別等により、調査を行った。
- ・調査方法 調査対象施設等への電話又は依頼文書により資料（観光客数統計）を徴収した（文書は12月末に発送、報告は1月上旬まで）。
- ・調査結果の公表 報道機関、県、市及び山口県観光キャンペーン実行委員会（県観光連盟）へ宿泊客数及び観光客数（市の調査）を合わせて発表した（2月）
- ・公表は来萩観光客数（市から情報提供）及び宿泊者数のみを発表する。2月に調査結果をマスコミ等へ発表した。

・調査の対象施設等

- ① 観光施設等：東光寺、高杉晋作誕生地、松陰記念館等10施設の観光客数及び消費額を調査した。
- ② バス等の観光事業者 タクシー、バス及び貸自転車の11事業者（利用人数及び消費額の把握）
- ③ 宿泊施設 43ヶ所（一般客、修学旅行者及び国別を把握）
- ④ 飲食施設 4ヶ所（昼食の一般客及び修学旅行者を把握）

・調査対象期間 1月から12月末まで

参考：指月公園、松陰神社、木戸孝允旧宅、萩博物館、萩八景遊覧船、道の駅「萩シーマート」、浦上記念館（萩美術館）、大型客船の8箇所の施設及びイベント参加者等の観光客数は市が調査把握した。

(平成29年観光客数)

1,420千人、うち宿泊客は430千人

(3) 観光客受入態勢整備事業

○観光協会等での観光案内

当協会事務所（萩駅横）、東萩駅観光案内所（東萩駅構内、職員1名常勤）において、訪問者や電話等での問合せに対し、観光の行程、見どころ等の案内、資料送付等を行った。

- ・周知方法 ホームページへ掲載及び各印刷物へ掲載（印刷物は道の駅、県内外市町等へ配布することにより周知）
- ・体制 職員全員8名、臨時職員2名（協会事務所）、職員2名（東萩駅観光案内所）

(平成29年度実績)

- ・観光協会事務所及び東萩駅観光案内所への訪問者等 34, 378人
- ・電話受付 14, 600件
- ・資料請求 1, 515件
- ・問合せ内容の例： 市内外観光地、行程、行事等の問い合わせ
- ・手ぶら観光サービス手荷物預かり 653件

■観光振興の拠点施設の管理運営、特産土産品の展示即売、観光案内に関する事業

【目的】

観光客の満足度を高めるため、萩市の歴史や自然のみでなく「見る、買う、食する」等の、より細やかな情報等を提供し、再訪を促すことを目的とする。

- ・周知方法 ホームページへ掲載及び各印刷物へ掲載（印刷物は道の駅、県内市町等へ配布することにより周知）。

【内容】

- ア 観光施設等管理運営事業
- イ 物品販売等事業
- ウ 広告宣伝事業
- エ 観光客案内事業
- オ 研修会の開催

(平成29年度取組)

ア 観光施設等管理運営事業

- ・指月公園、旧厚狭毛利家萩屋敷長屋の入場料徴収業務（入場料は萩市収入）
- ・萩市観光「自然と歴史」情報センター及び萩市自然と歴史の展示館管理業務

イ 物品販売等事業

- ・観光資料(書籍、ガイドブック、パンフレット、絵葉書など)、テレホンカード及び土産品の展示即売
- ・自動販売機による飲料販売

ウ 広告宣伝事業

- ・ホームページに会員等の広告(全体の7%、29件)を掲載し、広告料を徴収する。
(平成29年度実績) 広告料1,021,000円

エ 観光客案内事業

○観光客へ会員であるホテル、旅館等の案内及び食事処、土産店への案内を行う。また会員へ取材協力依頼を行った。

○観光ガイドによる観光客等（個人及び旅行社等の依頼）の案内

当協会職員2名をガイド担当として選任し、観光客等からの依頼に対し、現地に出向いて、市内観光施設や名勝旧跡の案内及び解説を行った。

- ・体制 職員2人
- ・実施方法 一人のガイドが2～3日に一回程度（約2.5時間/1回）観光客等の車に同乗或いは徒歩で、現地において観光案内等を行った。
- ・ガイド料金等 2～4名3,500円、5名以上5,500円（いずれも2時間以内）
(平成29年度実績)

- ・一般旅行者等の依頼による案内258回 3,839人 ガイド収益1,301,400円

オ 研修会等の開催

萩市のイメージアップ、おもてなしの充実を図るため、外部講師を招聘し、或いは職員が講師となって以下の研修会を実施した。また、他団体等からの依頼により、職員を講師として派遣した。

(平成29年度実績)

① 講師(司会等)派遣

平成29年10月27日 山陰自動車道決起大会

② 外部講師

平成30年 3月27日 おもてなし講座「第1印象ブラッシュアップ講座」

ANA元客室乗務員を講師に迎え、接遇の基本と第一印象の重要性について実践を交えた講座を実施 参加者29名

③外部研修

明治維新150年記念関連

「維新胎動の地萩 旧松本村を歩く」

平成29年 9月 3日 (参加者 5名)

■萩版DMO事業

【目的】

地域DMOとして地域の稼ぐ力を引き出し、地域の誇りと愛着を醸成する取組を推進する舵取り役として、効果的な観光事業を展開し、「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを多様な関係者と協同しながら取り組むとともに、会員事業所の更なる発展に寄与する取組を実現する。

【事業】

(1) 観光地デジタルスタンプラリー

平成29年4月20日～12月24日を期間にJAFの運営する「観光地デジタルスタンプラリー」に参画し、地域を周遊する企画を展開した。

(2) DC関連（食）情報発信

平成29年10月1日～22日（土・日曜日）に酒粕をテーマにした、「SAKAKASU5」を、市内の8店舗に協力頂き展開した。

(3) おもてなし業務

トワイライトエクスプレス瑞風や〇〇のはなしと、多くの観光列車の運行開始に併せて、多様なおもてなし、歓迎イベントを実施した。

(4) 萩市自然と歴史の展示館展示充実事業

トワイライトエクスプレス瑞風の停車を受け、展示内容のリニューアルを行った。

(5) マーケティングアドバイザー

萩版DMO事業を推進する中で、市内の各地域を代表される方々にお集まりいただき、4回のワークショップを開催した。

(6) 音声ガイドシステム構築

萩・明倫学舎を起点とした観光ルートを案内するアプリ“萩たびガイド”を開発した。

(7) 「学ぶ観光」MICE誘致助成支援

萩市で開催されるMICEの誘致促進を目的とした助成支援制度を創設した。

(8) 情報発信PR誘発助成支援

会員事業者に対し、経営計画に沿った販路開拓に取り組む際に必要な広報宣伝費の一部を助成する制度を創設した。

実績：9事業所（旅館ホテル7社、施設2社）

(9) マネジメント責任者

萩版DMO事業推進に向けて、新たにマネジメント責任者の全国公募を行った。10月より着任し、萩版DMO戦略の策定やKPIの設定を行っている。

(10) 魅力ある観光パンフレット作成

観光客からのニーズが高い民間情報を含むパンフレットを作成した。従来サイズを拡大し、情報量を増やした。モデルルートや世界遺産の部分をQRコードで観光協会HPリンクをさせて、より詳細な情報が得られるようにした。

(11) 見島観光滞在型促進事業

見島は渡り鳥など約350種類の野鳥を見ることが出来る日本屈指の「バードウォッチングスポット」であることより、新たな観光資源の発掘と観光ルートの策定を目指した事業を展開した。